

「日曜日は原宿で箏を聴く」 WINDS CAFE 260 in 原宿

2018年 8月26日(日) カーサ・モーツァルト

- 1 「なばりの三ツ～十七絃独奏のための」 吉松 隆作曲
- 2 「いするぎ」 杵屋正邦作曲
- 3 「寂景」 愛澤伯友作曲
- 4 「瀬音」 宮城道雄作曲
- 5 「Letters from a stranger's childhood」 ロビン・ウィリアムソン作曲
- 6 「十七絃独奏による主題と変容 風」 牧野由多可作曲

演奏：3) 尺八 田辺洌山、4) 箏 日吉章吾、全曲) 十七絃 木田敦子

<田辺洌山> 岡山市出身、中央大学哲学科・NHK邦楽技能者育成会第25期卒業。故山本邦山師(人間国宝)に師事。リサイタル・海外公演・参加アルバムも多い。『色彩の間』『風姿有韻』『日本の“音遊び…”』『閑花風』『西洋の弦 v s 東洋の管』など自主企画での公演も多く、CD-BOX『“冴”尺八山本邦山<音楽の軌跡>』では和傳社プロデューサーとして平成29年度文化庁芸術祭大賞受賞。現在東京を中心に企画制作および舞台・放送・録音・指導などの活動をしている。(公財)都山流尺八楽会・(公社)日本三曲協会・都山流尺八邦山会・日本尺八演奏家ネットワーク(JSPN)所属、(一社)和傳社理事。

<日吉章吾> 6才より生田流箏曲を始める。これまでに三木千鶴氏、金津千重子氏に師事。東京芸術大学卒業後、同大学院を修了。第1回利根英法記念邦楽コンクールにて最優秀賞、2016年度第71回文化庁芸術祭新人賞などを授賞。NHK-Eテレ「にっぽんの芸能」テーマ音楽収録参加やNHK-FM「邦楽のひととき」など、テレビ、ラジオ放送に出演。アイスランド、スイス、イタリア、フランス、シンガポールなど、海外での演奏経験も積む。近年では胡弓を高橋翠秋氏に師事するほか、平家(平家琵琶)の伝承・復元研究にも参加し、活動の幅を広げている。箏曲正絃社師範、千鶴の会、森の会、平家語り研究会各会員。重音会会友。

<木田敦子> 北海道網走にて3歳から箏の手ほどきを受ける。東京芸術大学卒業。同大学院修士課程修了。生田流宮城会師範。大学卒業の春「音楽大学卒業生による演奏会」(宮内庁主催)で御前演奏。大学院在学中、ヴェルツブルク(独)にて大町陽一郎氏の指揮で現地オーケストラとコンチェルトを共演。箏・尺八・シンセサイザーによるユニット「箏座」として、CDを3枚リリース(ビクターエンタテインメント)、その楽曲は、今なおテレビ番組で多用されている。その他、邦楽・洋楽各種レコーディングに多数参加。様々なコンサート、ミュージカル・劇伴等ジャンルを超えた演奏活動の他、指導活動も行っている。全曲多重録音によるソロアルバム「トケイソウ」をリリース(2009年)。絃と尺八の三重奏ユニット「Den3」で活動中。